

第 11 次

岡山県交通安全計画

令和3年5月

岡山県交通安全対策会議

目 次

基本理念	1
【交通事故のない安全で安心な岡山県を目指して】	
【人優先の交通安全思想】	
【高齢化が進展しても安全に移動できる社会の構築】	
1 交通社会を構成する三要素	1
(1) 人間に係る安全対策	
(2) 交通機関に係る安全対策	
(3) 交通環境に係る安全対策	
2 これからの5年間（計画期間）において特に注視すべき事項	2
(1) 人手不足への対応	
(2) 先進技術導入への対応	
(3) 高まる安全への要請と交通安全	
(4) 新型コロナウイルス感染症の影響の注視	
3 横断的に重要な事項	3
(1) 先端技術の積極的活用	
(2) 救助・救急活動及び被害者支援の充実	
(3) 参加・協働型の交通安全活動の推進	
(4) 経営トップ主導による自主的な安全管理体制の充実・強化	
4 計画の推進	4
第1章 道路交通の安全	5
第1節 道路交通事故のない社会を目指して	5
第2節 道路交通の安全についての目標	7
I 道路交通事故の状況等	7
1 道路交通事故の状況	7
2 近年の交通死亡事故の特徴	8
3 道路交通を取り巻く状況の展望	9
II 交通安全計画における目標	11
第3節 道路交通の安全についての対策	12
I 今後の道路交通安全対策を考える視点	12
＜重視すべき視点＞	12
(1) 高齢者及び子どもの安全確保	12
(2) 歩行者及び自転車の安全確保	13
(3) 生活道路における安全確保	14
(4) 先端技術の活用推進	14
(5) 交通実態等を踏まえたきめ細かな対策の推進	15
(6) 地域が一体となった交通安全対策の推進	15

II	講じようとする施策	16
1	道路交通環境の整備	16
2	交通安全思想の普及徹底	35
3	安全運転の確保	47
4	車両の安全性の確保	55
5	道路交通秩序の維持	57
6	救助・救急活動の充実	61
7	被害者支援の充実と推進	64
8	交通事故原因の総合的な調査研究の推進	67
第2章	鉄道交通の安全	68
第1節	鉄道事故のない社会を目指して	68
I	鉄道事故の状況等	68
1	鉄道事故の状況	68
2	近年の運転事故の特徴	69
II	交通安全計画における目標	69
第2節	鉄道交通の安全についての対策	69
I	今後の鉄道交通安全対策を考える視点	69
II	講じようとする施策	70
1	鉄道交通環境の整備	70
2	鉄道交通の安全に関する知識の普及	70
3	鉄道の安全な運行の確保	71
4	鉄道車両の安全性の確保	72
5	救助・救急活動の充実	72
6	被害者支援の推進	73
7	鉄道事故等の原因究明と事故等防止	73
第3章	踏切道における交通の安全	74
第1節	踏切事故のない社会を目指して	74
I	踏切事故の状況等	74
1	踏切事故の状況	74
2	近年の踏切事故の特徴	75
II	交通安全計画における目標	75
第2節	踏切道における交通の安全についての対策	75
I	今後の踏切道における交通安全対策を考える視点	75
II	講じようとする施策	75
1	踏切道の立体交差化、構造の改良及び歩行者等立体横断施設の整備等の促進	75
2	踏切保安設備の整備及び交通規制の実施	76
3	踏切道の統廃合の促進	76
4	その他踏切道の交通の安全及び円滑化等を図るための措置	76